

# 作文部門・小学生の部

最  
優  
秀  
賞

## 山を守る仕事

鹿沼市立粕尾小学校四年

若<sup>わか</sup>林<sup>ばやし</sup>色<sup>いろ</sup>陽<sup>は</sup>

わたしは最近テレビのニュースでクマなどの動物が町におりてきていることをよく聞きます。わたしの住んでいる所も山が多く自然が豊かですが、実際にクマを見たことはありません。でも、防災無線でクマの目撃きじょうほうが流れたこともあり、近くにはクマがいることが予想されます。だから、「どう然家の前に現れたらどうしよう。」と一人て心配していました。

でも、話を聞いているとクマなどの動物は人をあそうために町におりて来たわけではないことが分かりました。山の中で食べるものがないので、えさを求めて畑の作物などをとりに来ているのだと分かりました。反対にえさをとりに来ただけなのではないかと心配してクマもおどろいていたと思います。

わたしの家の前の畑にはトタン板でさくがしてありますが、夜中にトタン板をたたく音が聞こえてきます。イノシシです。時には体当たりをしたのか、トタン板がたおれていることもあります。また、農作物のひがいをへらすために家の周りにもイノシシのわなをしかける場所がふえてきました。そして、わなにかかるイノシシの数もふえています。それだけ町にイノシシが多くなってきていることがわかります。動物をいらすことはしたくありません。

ん。でも、大切に育てた農作物を食べられるのも困ります。だから、おたがいのためにもクマやイノシシ、シカやサルなどが山からおりて来てほしくありません。

わたしの祖父は山を守る大切な仕事をしています。山の下の草かりです。わたしは最初のころは下の草かりが大切な仕事だとは思えませんでした。でも、祖父から仕事の話を聞くと、その考えが変わりました。

山の下の草かりは森を守っています。山に下の草がある、木に必要なよつ分が草にとられてしまい、木が十分に育たなくなってしまう。そうならなために祖父は山の下の草をかるそうです。また、山にはたくさん木が生えています。その木の根には山に降った雨をたくわえておく力があります。だから山の木がしっかりといるところは山がくずれることがないそうです。わたしは木がそんな重要な役目をしているとは知りませんでした。

わたしの家の周りの山はほとんどスギの木です。昔は落葉する木々が多くあり、その葉で山が栄養にみち、トングリやエゴの実、カキやクルミといった動物のえさとなる木の実もたくさんあったと聞きます。その豊富なえさのおかげで山に住む動物達も町にいたりすることなくくらししていくことができた。ところが森があれ、スギなどの針葉樹がふえたことで動物達は町におり、えさをさがすようになったのです。

一度こわれた山が元にもどるには五十年とか百年とか長い年月がかかります。だから今ある山を大切にすることが大切だと思います。祖父は大切な山を守る仕事をしています。私は祖父の仕事をほこりに思います。今、目の前にある山の緑は、先人が大切にしてくれたものです。だから、わたし達は過去から受けついで大切な緑を未来の人達につけつぐべきがあります。そのためわたしも祖父のように山を守るために自分ができることをしっかりとしていきたいと思います。そして一人でも多くの人が緑を大切に、自然をこわさないよう協力してくれたらすばらしいことだと思います。